

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		スポーツ実習ⅠA [サッカー・フットサル] Sports I A [Soccer Futsal]				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 中村 泰介			
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)		スポーツ実習			使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位		週コマ数	1コマ		授業形態	実習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月1/月2			配当学年	全回生	対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]											
本実技では、生涯スポーツの一つとしてサッカー競技を実践できることを目指すものである。地域や文化によって異なるサッカーのスタイルを「知り」、そして授業の中で個人レベル、さらには集団レベルでそれぞれのスタイルを「感じ」、自己の身体で「プレイ」していく。毎回異なる状況設定(環境・メンバー・自己のコンディション)のなかで、サッカーゲームに有する魅力を体感することと、ゲームを通じて自己の運動スキルの向上を目指していくものとする。											
[到達目標]											
実際のゲームを「見て」楽しむことと、自らが「プレイ」して楽しむことのできるサッカー実践のスキルアップを目指す。 サッカーのスキル・レベルは特に問題としない											
[授業計画と内容]											
授業はゲーム中心に展開する。その中で、毎回具体的なテーマをもとに取り組んでいく。(例→南米スタイル(ブラジル、アルゼンチン、メキシコ等)、ヨーロッパスタイルといった、各々のゲームスタイル及びプレイの感覚等)											
1 オリエンテーション											
2～6 個人戦術											
ボールコントロール・オリエンテーション(コントロールと方向付け)											
自己とボールの関係性(フィーリング)・ドリブル動作											
ボールタッチとリズム・ターン動作(日本・ヨーロッパ・南米・アフリカ)・プレイングディスタンス(プレイの幅)											
シュート感覚と実際のプレイ(動作)・スペースへの感覚・間合い											
ゲーム											
7～10 集団戦術											
フォーメーション(動き方)とコンビネーション(意図とタイミング)											
ゲームスタイル・ゲームコンセプト・ゲーム(流れ)をよむ、楽しむ											
ゲーム											
11～14 ゲーム戦術の実践											
ゲームを中心に・システム及び戦術を考え実践											
システム(ポジション)からゲームを考える											
個人の意図で動くゲームと戦術の中で動くゲーム											
攻撃と守備、守備と攻撃、守備と攻撃を一つに考える											
ゲーム											
未経験者でも、授業の中である一定のレベル(ゲーム及び自己の意図するプレイが楽しめる)まで到達できます。授業のゲームではサッカー経験は問題としません。また、「みる」ことが好きな学生も、「なぜ、世界の人々がサッカーに魅了されるのか?されてきたのか?」ということ、是非											

スポーツ実習ⅠA [サッカー・フットサル] (2)

自分の身体でプレイし実感してもらいたいと思います。生涯にわたってサッカーを实践できるスキルを身につけることはもちろんですが、地域や文化によって違うスタイルを歴史的、比較文化的な視点で捉えながら、それらの文脈といまの自分のプレイを重ねてみることで、もう一つ深い視点でサッカーを楽しむことができると考えています。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席状況・授業に取り組む姿勢等を総合的に評価する

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

オリエンテーション時に説明を行う。

【その他（オフィスアワー等）】

オリエンテーションは体育館で実施する。
2回目以降は農学部グラウンドで実施する。
学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入しておくこと。